

2022年「溝上 慎一の教育論」視聴ベスト5 (ダイジェスト)

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。
公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています

Number9(桐蔭学園)

⑦ICTを利用して「運動ができればOK」を 乗り越える体育科の事例集(桐蔭横浜大学)



体育以外の異なる教科
幼稚園から大学までの異なる学校種の教育関係者
に響くものがあると思います！

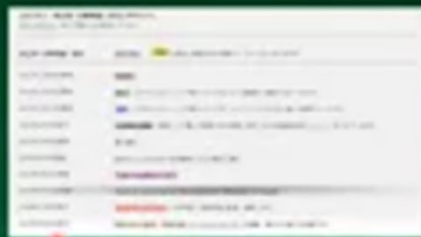
5位

Number 1

「溝上慎一の教育論 動画チャンネル」キックオフ

趣旨と目的

- ウェブサイト「溝上慎一の教育論」の拡張
- 話はわかりやすいが、文章は難しいという声に多少応えたい
- 講演やセミナー後の振り返り、Q&Aをしたい



ウェブサイト「溝上慎一の教育論」
<http://smizoku.net/education/>

4位



Number 9(桐蔭学園)

④大学剣道部にアクティブラーニング？

(『剣道日本』への掲載記事を踏まえてインタビュー)



3学年から7年生、部中実習部長、副部長が中心となって取り組んでいる(4年生はコウワ高等のらめ子君 写真提供：桐蔭横浜大学)

剣道を楽しむ環境づくりで 人口減少に“待った” 桐蔭横浜大学

昨年の全日本学生優勝大会(団体戦)に初出場を果たした桐蔭横浜大学は、強化クラブに指定されてから8年目を迎えようとする、比較的歴史の浅い部である。監督を務める高瀬武志(剣士六段)は全国大会優勝経験も持つ剣士だが、これまでも多くの課題を抱え、勝利だけを求めて、さまざまな角度から剣道にアプローチしている。今



3位

2位

Number 5

① 千々布敏弥先生との対談

—「主体的・対話的で深い学び」が施策化された背景・舞台裏に迫る—

今回の企画 (Number5)

先生たちの
リフレクション

主体的・対話的で深い学びに近づく、
たった一つの習慣

千々布敏弥

教育界の最前線・研究界が
アップデート・ラーニングの
モヤモヤ
に切り込んだ先駆者
超シンプルで授業改善の戦略

千々布先生の新著

『先生たちのリフレクション—主体的・対話的で深い学びに近づく、たった一つの習慣』
教育開発研究所 (2021年11月刊行)

から、大きく2点についてご説明いただき、溝上と対談をして理解を深めます。

①「主体的・対話的で深い学び」が施策化された背景・舞台裏

②佐藤学による授業研究批判

石井英真による佐藤学批判と教授学再興



Number16

1位

INTERVIEW: 國府常芳・京都府総合教育センター／もと園部中校長)

「あの園部中」の子供が
なぜそこまで学びに向かったのか？

2021.4.2

Never Give Up

データをもとに生徒、保護者、地域、教員と徹底的に対話

国府常芳 令和3年3月

それではご覧ください